

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2020年3月19日
研究・研修課題名	微生物検査の精度向上のための講習会参加（第33回 病原真菌講習会への参加）
研究・研修組織名（所属）	検査部
研究・研修責任者名（所属）	検査部・馬庭恭平
研究・研修実施者名（所属）	検査部・馬庭恭平

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果（該当なし）
該当者名（所属）	
学会名（会期・場所）、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有無	<input type="checkbox"/> 加算有（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容① 目的

真菌の種類は数万とも数十万とも言われ、その中で一部の菌種は真菌症、アレルギーの原因菌となる。特に問題となる高度免疫不全患者の深在性真菌症は予後不良であり、早期に診断し、早期に治療を行うことが重要であるが、真菌の検出は培養条件や培地の選択、培養温度に工夫が必要となるため発育させるのが難しいとされている。また近年海外渡航などによる輸入真菌症は危険度が高いとされ、注視されている。そこで今回、病原真菌講習会を受講し病原真菌に対する基礎知識や培養の知識、最新の検査技術を学ぶことにより、微生物検査室の真菌検査の精度の向上を目的とする。

② 方法

千葉大学真菌医学研究センターが以下の日程で実施する講習会へ参加する。

期日：2019（令和元）年7月9日（火）～7月12日（金）

会場：千葉大学真菌医学研究センター

講習内容：病原性酵母、病原性アスペルギルス、皮膚科領域真菌症原因菌
輸入真菌症原因菌、病原性接合菌・新興病原真菌、
薬剤感受性試験法、病原性放線菌、その他

③ 成果

講習会に参加することにより真菌の基礎知識並びに培養・同定法といった検出方法を学ぶことができた。講習会の中で特に糸状菌を疑う際には臨床からの情報提供が重要であることを学んだ。そこで2019年11月に検査部広報誌である「検査部だより」を通じて検査のオーダーについての通知を行った（図1）。その後糸状菌検出数を昨年度と比較したが2018年12月～2019年2月は8例、2019年12月～2020年2月は8例と検出数に変化はなかった。今後のオーダー並びに検出数の増加に期待したい。また今後は使用する培地の変更や培養温度、培養日数、培養方法の見直しを行い、手順を統一化し、より一層の感度向上に努めていきたい。

微生物検査室からのお願い

微生物検査では通常の検査方法(培地)で発育しない菌がいくつかあります。そのような菌が疑われる際は特殊な培地を使用して検査する必要があります。オーダー時の情報提供をお願いします。

以下の菌を疑うときはオーダー時に該当菌名をクリックしてください。(右図参照)

耐性菌 <ul style="list-style-type: none">・MRSA・ESBL・多剤耐性緑膿菌	特殊な培地・培養 <ul style="list-style-type: none">・糸状菌・Vibrio sp.・Yersinia sp.
---	--

電子カルテ選択画面

目的菌・詳細・薬剤情報

検査種名: 全材料

目的菌 詳細情報 薬剤

検体名: 便

== 耐性菌 ==
MRSA
ESBL
多剤耐性緑膿菌
== 特殊な培地・培養 ==
糸状菌
Vibrio sp
Yersinia sp

図 1 検査部だより (No63)